沿 道 掘 削 に つ い て

令和〇年〇〇月〇〇日

（宛　先）
大　田　区　長

誓約書の施工者名義です。

住　所　東京都大田区蒲田〇-〇〇-〇〇
届出者　氏　名　〇〇建設株式会社
代表取締役社長　〇〇　〇〇
担　当　〇〇　〇〇
連絡先　電　話　03-1234-5678

下記のとおり、沿道掘削について届出いたします。

記

1　工事場所（住居表示）大田区蒲田〇丁目〇〇番〇〇号

2　工事期間　令和　〇年　〇月　〇日から
令和　〇年　〇月　〇日まで

工事期間は、工事開始から工事完了までの期間

3　掘削範囲　沿道　18.2　m

沿道区域内の山留部の道路延長を記載

4　掘削深度　2.2　m

道路面からの根切り深さを記載
複数になる場合は、範囲やそれぞれの値を記載

5　掘削理由　〇〇マンション新築工事のため

具体的な目的を記載

6　添付書類　誓約書、案内図、建物配置図、平面図、山留計画図、
山留計算書、土質柱状図、掘削工事仕様書、
工程表、現状写真

備考　1　工事期間は、工事開始から工事完了までの期間を記入すること。
2　山留計算書の地表面での変位量は３ｃｍ以下とすること。

収　受　欄

誓　約　書

（宛　先）
　大　田　区　長

令和　○年　○○月　○○日

施　主　　住　　所

氏　　名　　　　　　　　　　㊞

電　　話

施工者　　住　　所　東京都大田区蒲田○-○○-○○

氏　　名　○○建設株式会社
代表取締役社長　○○　○○　　㊞

電　　話

＊法人の場合は、名称・代表者氏名を記入し、代表者印を捺印してください

東京都大田区　　　　　　　丁目　　　番　　　号先の沿道掘削届出書につきましては、下記のことを誓約いたします。

記

今般、私が、下記工事施工に伴い沿道区域を掘削するにあたりましては、回答事項を厳守し、危険防止及び道路管理上支障のないように努めます。
なお、万一、工事のため生じました道路地下埋設物等の破損、道路の沈下、その他道路工作物等の損傷につきましては、将来とも貴庁の指示に従い、原状に復し、その費用等に関しては、すべて当方において負担いたします。
また、この工事による建築物が道路境界線を超えた場合は、直ちに除去いたします。

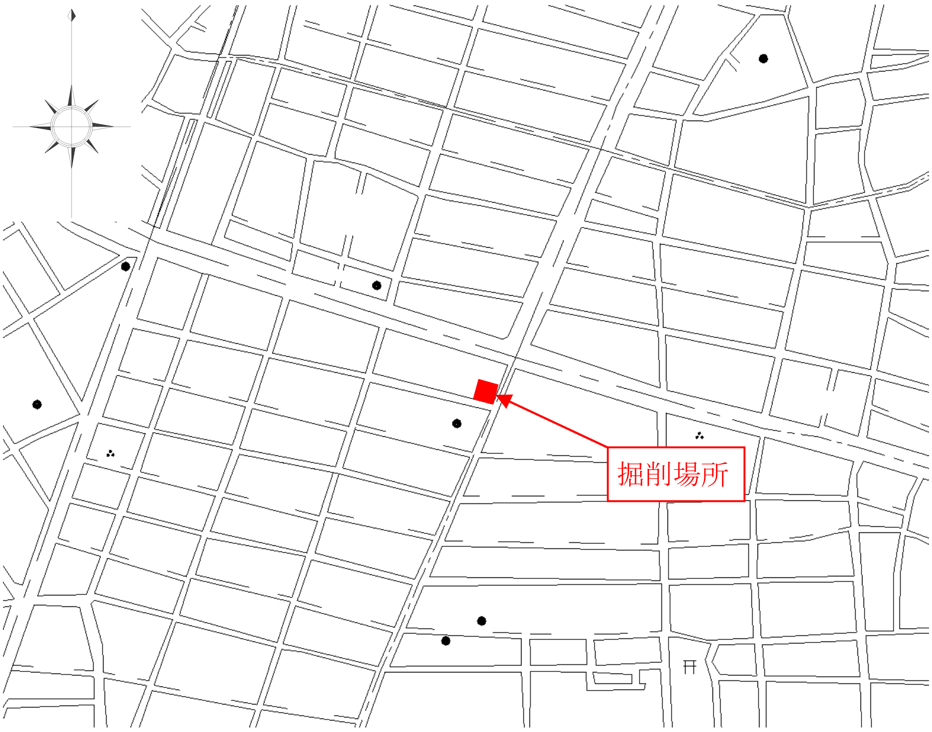
1　工事場所　　大田区蒲田○丁目○○番○○号

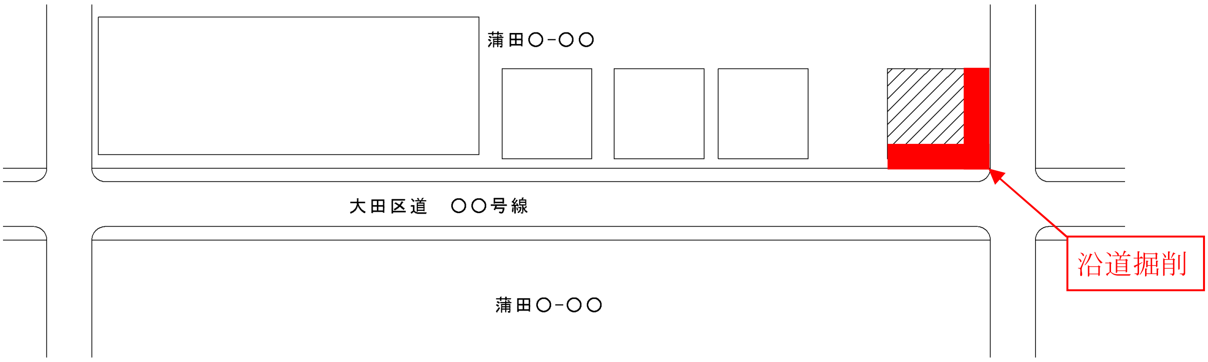
2　工事名称　　大田マンション新築工事

備考

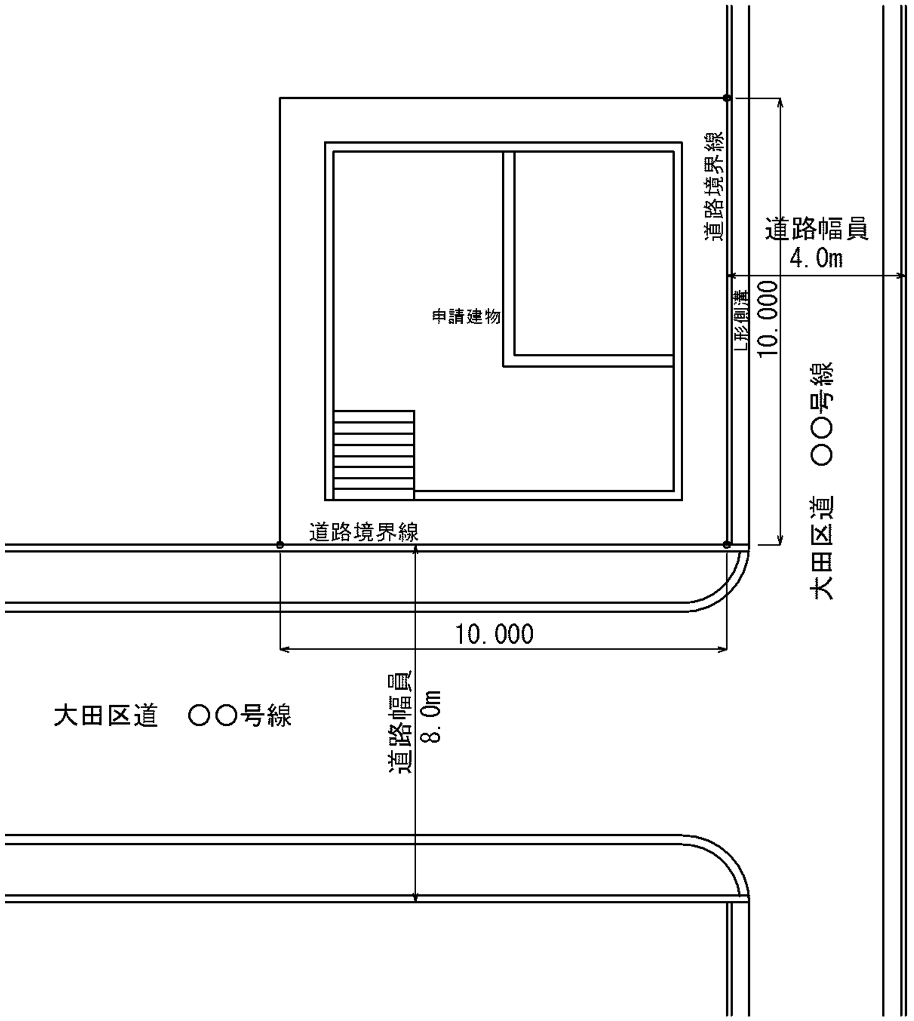
案　内　図

大田区蒲田〇丁目〇〇番〇〇号先





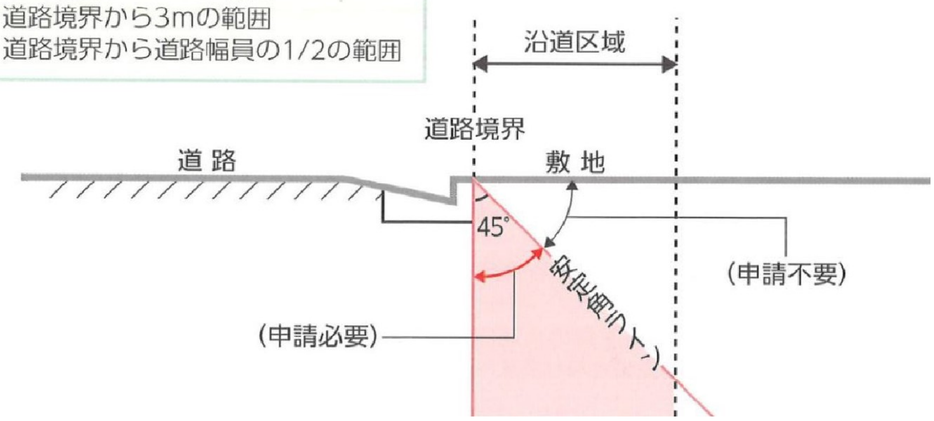
建物配置図



※公道との関係を明示（方位・道路幅員・道路境界線・敷地延長等の記入）してください。

沿道区域とは？

道路に接続する地域で前面道路の幅員が、
20m以上の場合 ……道路境界から5mの範囲
6～20m未満の場合…道路境界から3mの範囲
6m未満の場合 ………道路境界から道路幅員の1/2の範囲



建物平面図

※地階・１階の平面図を添付してください。

掘　削　工　事　仕　様　書

1　土留工法　　　　　　親杭横矢板工法

2　掘削深度　　　　　　2.2 m

道路面からの根切り深さを記載
複数になる場合は、範囲やそれぞれの値を記載

3　土留材

種　類　　H200×100×5.5×8.0

全　長　　5.0 m

複数になる場合は、それぞれの値を記載

根　入　　2.8 m

4　土留用矢板

厚　さ　　30 ㎜

5　腹おこし・切りばり　なし（自立式）

6　掘削工法　　　　　　全断面掘削（バックホウ方式）

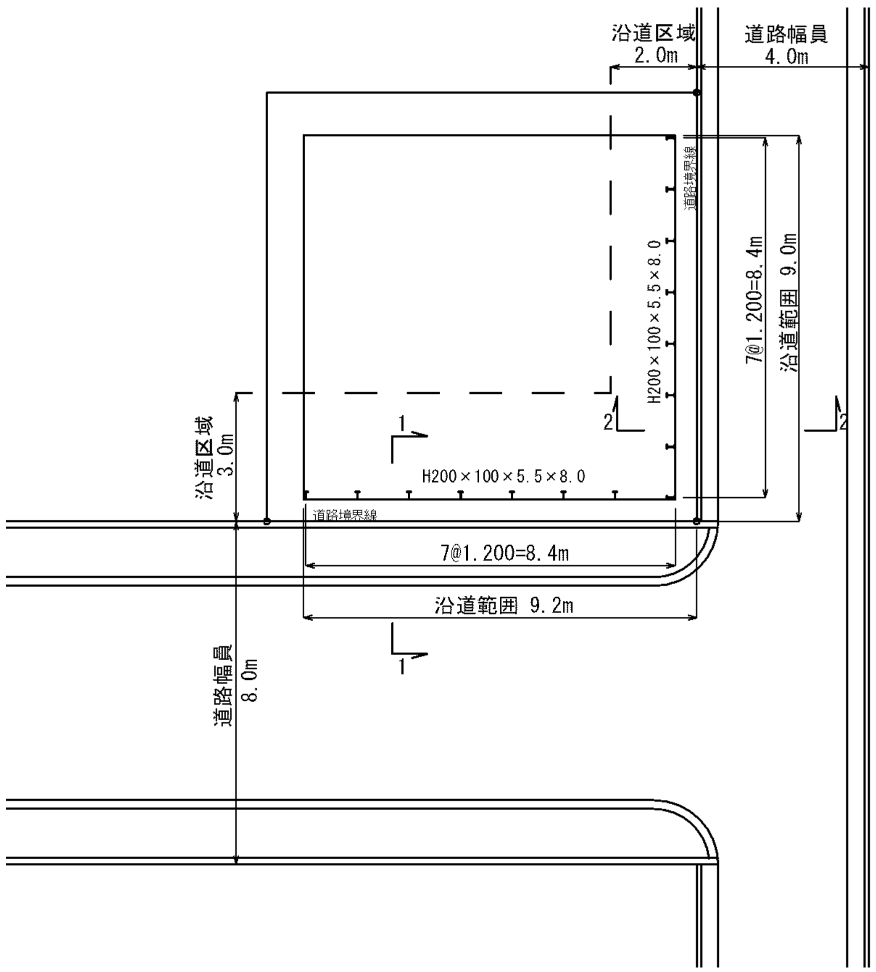
7　土留杭抜き及び埋戻し工法　　引抜なし（残置）

8　排水計画

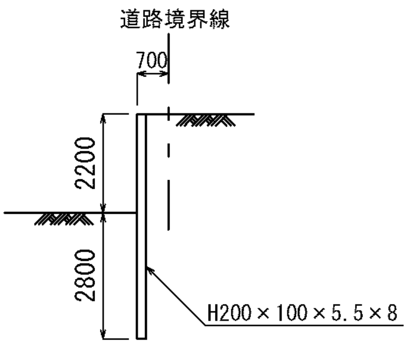
釜場工法

ポンプにより、地下水および雨水をノッチタンクへ揚水し、
泥水処理されたものを下水管へ排出する。

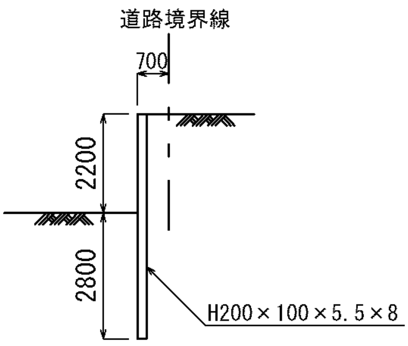
山留め計画図



1－1 断面



2－2 断面



※土留めの計画がよく分かるように作成してください。

※公道の道路幅員・沿道区域・掘削範囲・掘削深度・土留種類・断面図を記入してください。

山留め設計計算書

※山留め設計施工指針：日本建築学会や仮設構造物工指針：日本道路協会に準拠した検討を行ってください。
※沿道区域内のみの計算書を添付してください。

土質柱状図

※当該地で実施したボーリング調査をもとに作成した柱状図を添付してください。

工　程　表

※工事期間：工事開始から工事完了までの期間

現　場　写　真

※沿道範囲全体を撮影してください。
※撮影位置がわかるように図面を添付してください。
※掘削前の道路に損傷があった場合には、損傷状況等がわかるような写真を添付
　してください。